

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL:055(254)8610・FAX:055(254)8614

<http://www.y-fukushi.or.jp/>

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・
デザインで制作した広報誌です。

いきいきライフ(ことぶきマスター人材バンク制度紹介)

P4 ▶ 笑顔あふれる魅力的な趣味を
皆さんと楽しんでみませんか

P6 ▶ 介護講座教室(平成24年度介護講座)
介護の正しい知識を学びましょう

P9 ▶ みんなの地域福祉(山梨市社会福祉協議会)
会場が一体となった「マリナーズコンサート」

P10 ▶ ボランティアトーク(シニアコーラスグループ『グリーンベル北西』)
歌は生きがい! 楽しく歌って、若さもキープ

P11 ▶ 福祉施設訪問(緑が丘デイサービスセンター)

P12 ▶ 福祉人材センターニュース

P14 ▶ 福祉用具紹介

P16 ▶ お知らせ

P2 ▶

【特集】平成24年度
県社協事業計画と予算



平成24年度 県社協事業計画と予算

期待にこたえることができる「良きサービス」の提供者として、最善を尽くします。

基本方針

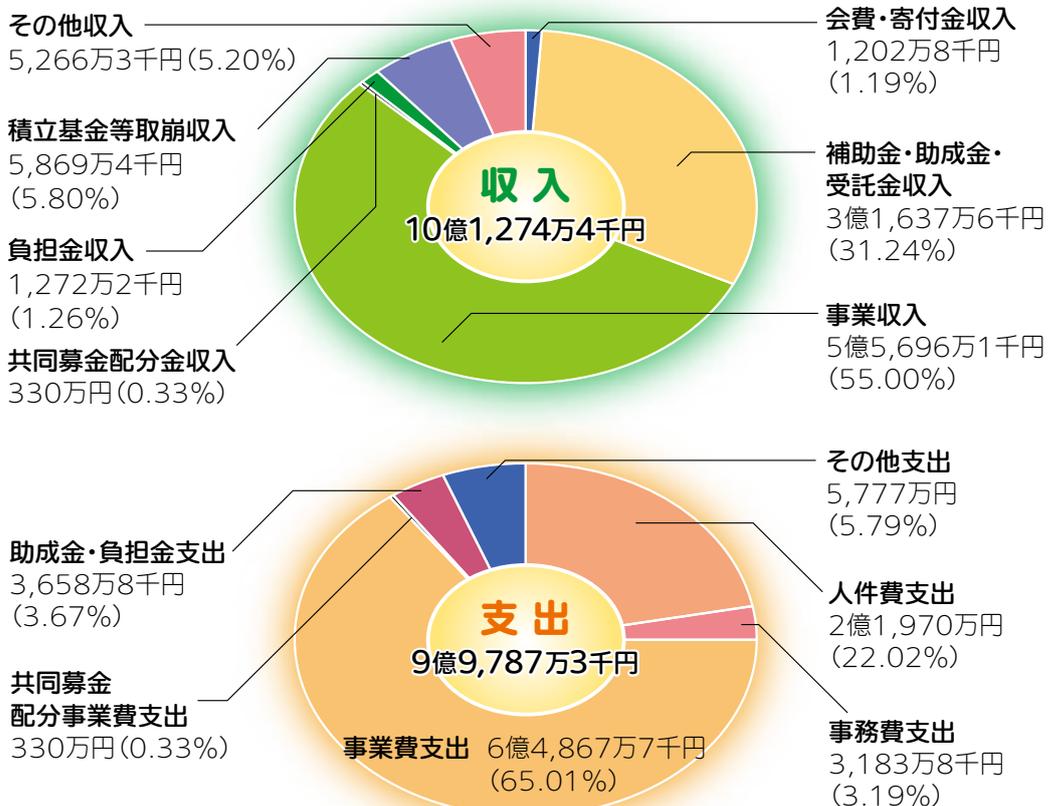
社会福祉法人山梨県社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図る民間団体として、県民にとって、なくてはならない社会福祉法人であり続けなければなりません。

本会は、市町村社会福祉協議会をはじめ、福祉事業関係者、当事者団体といった県民の福祉の向上をめざす個人や団体を含めた機関を顧客と考えており、福祉関係者は、民生委員児童委員や社会福祉施設、団体はもとより、介護保険事業所、ボランティア団体、NPOなど、多様な担い手が市町村において活動を展開しています。

本会は、県域において県民（地域住民）や多様な機関、団体との連携、協働のもと、民間法人としての自主性や広域性、公益性、専門性を発揮し、職員が自己研鑽を怠らず、助け合い、お互いを尊重し、どんな小さな声にも耳を傾け、「県民が期待するものは何か」を見据え、信頼される団体となるべく次のことを目指します。

- 県民が主体となる山梨発の福祉文化の創造
- だれもが必要なときに必要なサービスを適切に利用できる福祉社会の構築のための関係機関との協働
- 福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保

平成24年度 一般会計予算概要（一般・公益・収益会計）



※内部取引（経理区分間・会計単位間収入・支出）を除く

※前期末経常活動収支差額・積立基金を財源に行う事業については、収入額に支出額の同額を計上

平成24年度 山梨県社会福祉協議会事業計画体系

重点目標1 支援機能の強化

1. 市町村社会福祉協議会への支援

- **新規** 小地域生活課題解決事業
(予算規模:110万8千円)
やまなし地域福祉実践研究セミナー(仮称)を開催し、地域における支えあい活動の要となる人材育成や、住民主体の推進体制の整備、地域の生活課題解決を目指します。
- 社会福祉協議会ボランティアセンター活性化事業
- 地域防災力強化事業
- パートナースHIP事業
- 市町村社会福祉協議会支援事業

2. 自立支援 地域における権利擁護

- 日常生活自立支援事業
- セーフティネット貸付等支援事業の推進

3. 経営支援

- 経営指導(支援)事業の充実強化
- 民間社会福祉施設振興資金貸付事業の推進
- 山梨県福祉サービス第三者評価事業
- 地域密着型サービス外部評価事業

4. 団体支援

- 団体事務局の運営
- 団体事務局の運営、受託についてのルール化
- 福祉活動支援事業
- 山梨ともしび基金
- 共同募金、歳末たすけあい運動の推進

5. 育成支援(福祉・介護人材の確保)

- **臨時** 福祉・介護人材緊急確保対策事業
(予算規模:2,565万7千円)
各年代、グループに応じた介護体験の実施、地域別ミニ相談会の開催、テレビ番組の制作・放映など広報啓発を行い、福祉・介護人材の安定的な確保を目指します。また、職域階層等に応じた研修及び事業所の要望に応じた研修の作成と講師派遣などキャリアパス支援等によって高い離職率の改善も目指します。
- 福祉人材センターアクションプランの推進
- 介護福祉士等修学資金貸付事業の推進
- 民間社会福祉従事者の確保支援

6. 高齢者健康生きがいづくり支援

- いきいき山梨ねんりんピック開催事業
- 全国健康福祉祭宮城・仙台大会山梨県選手団派遣事業
- 山梨県シルバー作品展・シルバー俳句大会開催事業
- 高齢者地域リーダー活動推進事業

重点目標2 研修機能の強化

1. 社会福祉に従事する者の養成及び研修の充実

- **新規** 研修セクションの(部門)の確立
(予算規模:3万円)

平成23年度までの県社協研修事業体系を基にした「新たな研修方針と研修体系」を検討し、ニーズに合わせた効果的な研修方針を確立。社会福祉従事者向けに上質な研修機会の提供を目指します。

- **新規** 研修委員会の設置(予算規模:12万円)
種別協議会、職能団体、学識経験者等をメンバーとした研修委員会を組織し、実施研修事業の効果測定を行い、ニーズに合わせた効果的な研修の提供を目指します。
- 社会福祉事業に従事する者の養成及び研修事業の充実
- 福祉・介護サービス事業者研修事業
- 介護支援専門員養成関連事業
- 認知症関連研修事業
- 高齢者権利擁護等推進事業
- 介護実習普及事業(基本事業、支援事業)
※県指定管理事業
- 介護実習普及事業(養成事業) ※県指定管理事業

重点目標3 相談機能の強化

1. 利用者本位の総合相談事業の推進

- **新規** 利用者本位のワンストップ相談の実現
県社協をはじめ、県福祉プラザ入館団体の相談担当者や職員を対象に研修を実施し、必要に応じて他機関との相談事業の連携強化ができるように情報交換します。
- 高齢者総合相談センター運営事業
- 認知症コールセンター運営事業
- 高齢者虐待防止支援事業
- 福祉用具等普及事業 ※県指定管理事業
- 山梨県福祉サービス運営適正化委員会の運営

重点目標4 広報・情報発信機能の強化

1. 広報・情報発信事業の充実

- 広報・情報事業の推進
- 第60回山梨県社会福祉大会の開催
- 広報啓発事業 情報提供・支援事業 ※県指定管理事業

重点目標5 県社会福祉協議会組織の充実

1. 法人組織の充実

- 正副会長会議・法人運営会議の強化充実
- 職員の育成・資質向上

重点目標6 財政基盤の充実・強化

1. 財政基盤の充実・強化

- 基本財産の管理及び今後の活用策の検討
- 安定した財源確保に向けての検討準備

2. 基金・助成金などの活用

- 基金や助成金等の活用

県社会福祉協議会では、60歳以上の方で、長年にわたって培ったさまざまな知識や技能を活かし活動する「ことぶきマスター」を県内各地に派遣しています。「ことぶきマスター」とは、知事が認定した地域づくりに貢献する活動を実践している方々です。現在、個人135人、11グループが県社協の「ことぶきマスター人材バンク」に登録しています。こうしたマスターの方々を、市町村や自治会、福祉施設、各種団体などからの依頼に応じて、イベントやレクリエーション、研修会、世代間の交流行事などに派遣し、各マスターの特技を活かした活動を行っていただいています。

☀ マスターの活動分野

マスターの活動は下記のとおり幅広い分野があります。

登録分野	
趣味・生活	手芸、詩吟、華道、手品、腹話術、絵手紙、料理 織物、わら細工など
スポーツ レクリエーション	太極拳、ゲートボール、ジョギング、グラウンドゴルフ、 レクリエーション指導、健康マージャン、 ノルディックウォーキングなど
文芸	俳句、漢詩、詩
美術工芸	水彩画、油彩画、水墨画、和紙絵、木版画、彫刻、書道、 陶芸など
音楽・演劇 舞踏	大正琴、ハーモニカ、尺八、ピアノ、浪曲、コーラス、 舞踊、社交ダンス、物真似、演劇など
その他	健康生きがい作り、郷土史、朗読、子育て支援、講演、 ボランティア活動など

マスターの方々は、プロではありませんが、特技の披露や指導をした活動先でその技能の高さを認められ、年齢を感じさせない行動力や話術で参加者の皆さんと世代を超えた交流を図っています。こうした活動を平成23年度は市町村や自治会、高齢者施設、小学校や子育て施設など、約100件の派遣をして、各派遣先で好評をいただいております。

☀ 派遣申請手続き

ことぶきマスターの派遣を希望する場合は、

- ①「ことぶきマスター人材バンク登録者派遣申請書」を郵送又はファックスで県社協へ送付する。
- ②県社協は、依頼者とマスターの仲介を行い派遣するマスターを決定する。
- ③県社協は、決定したマスターの名前、連絡先などを依頼者に連絡する。
- ④依頼者はマスターと連絡を取り、具体的な打ち合わせを行う。
- ⑤派遣終了後、依頼者は「派遣実施報告書」と活動時の写真2〜3枚を添付し県社協へ提出する。

これらの申請書等の用紙や利用方法は、「ことぶきマスター人材バンク登録者名簿」に記載してあります。名簿は、各市町村・市町村社会福祉協議会・高齢者福祉施設などに配布していますが、ご希望の方は県社協へご相談ください。

■お問い合わせ先 県社会福祉協議会福祉振興課地域福祉推進担当
電話055-254-8610 FAX055-254-8614



いきいき
ライフ

笑顔あふれる
魅力的な趣味を皆さんと
楽しんでみませんか

ことぶきマスター人材バンク制度紹介



「タネ」も仕掛けもありません!! 「マジックショー」





華麗なダンスを披露



コーラスグループの美声に酔いしれて...

学校で子供たちへ指導



昔なつかしい「浪曲」を披露



「大正琴」の演奏に合わせて大合唱!

一人で悩まないでください

保健師や認知症介護の経験者であるわたしたちにお話を聴かせてください。

山梨県

認知症 コールセンター

お父さん...
認知症かなあ



介護がつらいついて
言いたいけれど...



周りの対応って
大事



物忘れとは
違うの?



家族ではないけれど
何か協力できない?



利用できる
サービスは?



介護家族の方々は、介護に追われる毎日にストレスを抱え、一人で悩み苦しんでいるのではないのでしょうか。当センターは、介護している方々が頑張りすぎないように、医療や福祉サービスなどの情報を伝え、上手に使えるよう一緒に考えます。また、地域住民の生活を支える民生委員の方々などからのご相談にも応じています。

電話相談は顔を合わせることも、名前を知らせることも必要ありません。

安心してご相談ください

●相談は無料 ●秘密は厳守します ●必要に応じ専門機関を紹介します

電話相談開設日 月曜日～金曜日 午後1時から午後5時まで※

☎ 055-251-0001

担当相談員

●月曜日～木曜日：保健師
●金曜日：「認知症の人と家族の会」会員

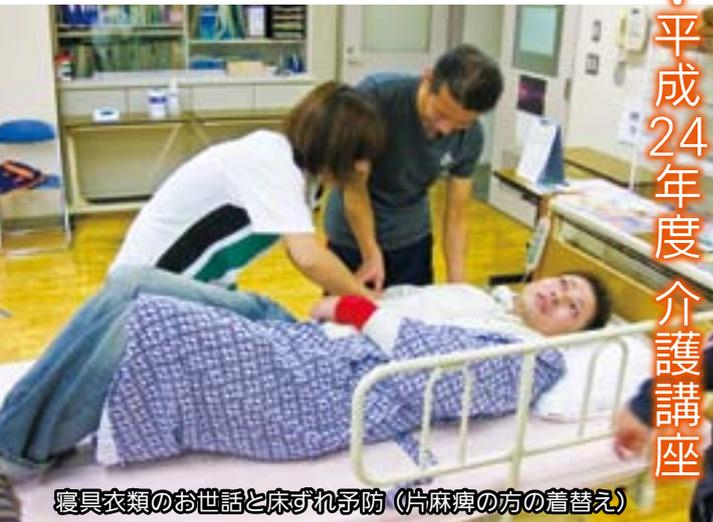
※午前9時から午後1時までは

山梨県高齢者総合相談センター(☎055-254-0110)で受けています。

土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)はお休みです。



お年寄りの食事のお世話（調理実習）



寝具衣類のお世話と床ずれ予防（片麻痺の方の着替え）



介護者の健康管理（ヨガ）



自立を促すリハビリテーション（体の動かし方）

介護講座教室…平成24年度介護講座

介護の正しい知識を学びましょう。

ご家庭で介護をされている方や、介護をする予定がある方を中心に受講者を募集しています。

県立介護実習普及センターでは、さまざまな介護講座を開催しています。県内にお住まいの方であれば受講できます。ぜひご利用ください。

入門介護講座（高齢者疑似体験）

お年寄りの身体と心の変化についての講義と、手足にサポーターやおもりをつけて体を動かさづらくしたり、ゴーグルや耳栓などによって感覚機能を鈍らせたりし、高齢者がどのような身体状況にあるのかを実際に体験する「高齢者疑似体験」を行います。高齢者への理解が深まり、介護者や要介護者の心の負担の軽減にもつながりますので、高齢者と接する機会のある企業や職業の方にも受講をおすすめします。

テーマ別介護講座

介護に役立つ知識や技術を、テーマに沿って具体的に学ぶことができます。

●**介護を支える保健医療福祉サービス**
今年度改正された介護保険など、制度や福祉サービスに関する知識や、在宅介護における症状の見方などについて学びます。

●**介護者の健康管理**
介護者の心身のリフレッシュのため、簡単なヨガを行います。

●**口の中の健康管理**
例え総入れ歯であっても重要な、口の中のお手入れ。歯茎のブラッシングやマッサージなどの技術や、飲み込みの機能などについて学びます。

●**自立を促すリハビリテーション**
本人の力や能力を活かしながらのベッド上での体の動かし方や起こし方、ベッドから車椅子などへの移し方などを学びます。介護者の腰痛予防対策としても有効です。

●**お年寄りに起こりやすい病気・事故の予防と対応**
高齢者の場合、重度化し、要介護状態に陥る危険のある、加齢に伴う身体機能の低下や、思わぬ事故によるケガなど、日常生活における予防法やとっさの際の対処法を学びます。また、AED（電気ショックにより心臓の働きを戻す器具）の操作体験も実施します。

●**寝具衣類のお世話と床ずれ予防**
在宅介護を快適にするために、寝具や

衣類の選び方、床ずれ予防のためのクッションの選び方や使い方などを学びます。

● **清潔のお世話**

ベッドに横になった状態で手や足を洗ったり、シャンプーをしたりと、入浴できないときの清潔について学びます。2日間のプログラムですが、1日のみの受講も可能です。

● **お年寄りの排泄の問題とそのお世話**

高齢者におきやすい排泄の障害と、ケアの方法を学びます。

● **お年寄りの食事のお世話**

1日目: お年寄りに優しい調理
2日目: 栄養を補う副菜の調理
3日目: 飲み込みの障害に合わせた調理
 3日間のプログラムですが、1日単位での受講も可能です。(材料費として1日500円の自己負担あり・定員各20名)

● **フットケア**

転倒予防にもつながるフットケア。爪の切り方など、正しいお手入れ方法を学びます。

介護ボランティア養成講座

「高齢者疑似体験」や「ボランティアに役立つ介護技術」などを2日間にかけて学びます。

認知症サポーター養成講座

認知症についての正しい知識や対応の仕方を学びます。受講者にはオレンドリングをお渡しします。

夏休みには、中学生・高校生向けに『青少年介護講座』、小学生向けに『夏休み小学生介護講座』を開講する予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

介護講座カレンダー

講座	開催時間	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
入門介護講座	9:30~12:00			3(火)	30(木)				
	13:30~16:00	16(水)	4(月)			28(金)	2(火)		
テーマ別介護講座	介護を支える保健医療福祉サービス		26(火)			4(火)			
	介護者の健康管理(ヨガ)		28(木)						
	口の中の健康管理	10:00~15:00	31(木)			6(木)			
	自立を促すリハビリテーション	10:00~16:00	30(水)				4(木)		
	お年寄りに起こりやすい病気・事故の予防と対応	10:00~16:00	24(木)				20(木)		
	寝具・衣類のお世話と床ずれ予防	10:00~16:00		12(火)				5(金)	
	清潔のお世話:入浴・部分浴	10:00~16:00			4(水)			10(水)	
	清潔のお世話:洗髪・清拭	10:00~16:00			5(木)			11(木)	
	お年寄りの排泄の問題とそのお世話	10:00~16:00		13(水)			19(水)		
	お年寄りの食事のお世話	9:00~14:00		6(水)			11(火)		
				7(木)			12(水)		
終末期のお世話	13:30~15:30		15(金)			25(火)			
フットケア	13:30~16:30		19(火)				24(水)		
青少年介護講座	9:30~16:00				7(火)				
					9(木)				
					17(金)				
夏休み小学生介護講座(午前)	9:30~12:00			25(水)	20(月)				
夏休み小学生介護講座(午後)	13:00~15:30			26(木)	6(月)				
認知症介護講座(2日間)	13:30~16:40			26(木)	6(月)				
介護ボランティア(2日間)	9:30~16:00			10(火)				27(火)	7(金)
				11(水)				6(火)	7(水)
認知症サポーター養成講座	10:00~12:00			2(月)		7(金)			
	13:30~15:30		8(金)				9(火)		

各講座には定員がありますので、お申し込みの際に確認してください。

■お問い合わせは…山梨県立介護実習普及センター ☎055-254-8680 FAX 055-254-8690まで

参加者の **声**

平成24年4月24日に山梨県立男女共同参画推進センター「ピュア富士」にて行われた、入門講座(高齢者疑似体験)にご参加された方々の感想です。

女性…40歳代

介護ヘルパーとして働いているのですが、自分の思いと実際出来ることに差があり、「日々勉強せねば」と参加をしました。今回、講座に参加してみて、お年寄りの体が動かしにくくなっていくこと、そのためイライラしたり、焦ってしまい時間がかかってしまうことなどを実感しました。そんな、お年寄りの思いを汲んであげられる介護員になれるよう努力していきます。

女性…60歳代

夫の介護を行う時、必要なことを少しでも出来るようになりたいと思い参加しました。講座では体などが自由に使えないというのが大変ストレスになることを痛感しました。今後は道具なども利用しながら夫も楽しく生きていけるように補助できたらお互いに幸福になれる気がします。また、一声かけるにもゆっくり話しかけるよう周りのお年寄りに接していきたいと思います。

テーマ別介護講座『介護を支える保健医療福祉サービス』講師の紹介

清水健太郎先生 ((有)ひだまり みだい居宅介護支援事業所管理者兼主任介護支援専門員) です。

講師

(有) ひだまり

みだい居宅介護支援事業所



管理者兼主任介護支援専門員

しみずけんたろう

清水健太郎さん

南アルプスの懐深く、御勅使(みだい)川のせせらぎも清々しい八田の地に事業所を構え、2年の歳月が流れました。スタッフ6名で、約100名の生活を支えるべく、日々奮闘しております。

今年4月、介護保険法が改正されました。これにより、「①地域包括ケアシステムの基盤強化②医療と介護の役割分担・連携強化③認知症にふさわしいサービス提供」を基本視点に、定期巡回型・随時対応など新たなサービスが創設されましたが、一方で、通所介護、訪問介護といった既存サービスの報酬についても大きく見直されました。厳しい財政状況は保険料や利用者負担にも影響しており、喜んでばかりはいられません。介護保険をはじめとするさまざまな制度は、利用者自身と身近で支える家族の生活向上のための社会資源であり、すべてを制度で賄えるわけではありません。ご自身が出来ること、ご家族が果たすべき役割など、介護や日々の生活の状況をしっかりと見つめ、何が必要か十分に考えたうえで利用することが重要です。

先日、南アルプス市内で開催された「あったか色の地域ささえ愛セミナー」にてリレートークのメンバーとして日頃感じていることをお伝えする機会をいただいたことは、“地域で自分らしく暮らし続けるためには、一人ひとりが他人事ではなく自分事としてとらえ、常に関心を持ち続けることで、地域が信用、信頼の輪でつながっていく”というキーワードのもと、介護支援専門員の立場から、何を視点に生活を支えていくべきかを考えるよい機会となりました。

普段の業務では、困り事や生活上不足している事柄にばかり目が向きがちですが、改めて考えてみると、望むことや価値観は多様ですし、生活の困り事のみ解決すれば安心というわけにもいきません。人によっては、誰かがそばに居るだけで“ほっ”とできることもあるでしょう。また、地域や社会との継続性を保つこと、地域の寄合や活動、あるいはご近所づきあいなど、日常のひとコマを変えないことも大切です。つまり、本当に必要なことや家族介護の在り方、地域とのつながり方は一人ひとり違うのだから、それぞれの生活史や日常の過ごし方、家族や地域との関わりなどを知ることによって見えてくるのではないかと思うのです。

暮らしの中で本当に必要とされていることは何か、家族や地域との結びつきを強めるために何を考え行動していくべきか、常に念頭におきつつ、微力ながらも「地域ささえ愛」を実践していきたいと思います。

「地域ささえ愛」を
実践していきたいと
思います。



地域を **支** える

ミッションという視点の必要性

「福祉教育推進の集い」を開催

山梨県社会福祉協議会では、平成21年度から「福祉のこころ醸成事業」を推進してきました。2月29日には「福祉教育推進の集い」を開催し、これまでの取り組みや成果の報告を行い、改めて「住民主体の福祉教育・地域福祉の推進のあり方」について認識を深めるとともに、市川三郷町社会福祉協議会と都留市社会福祉協議会による実践報告を通し、学校・地域・社協が連携した特色ある取り組みを学びました。また、武蔵野大学の渡辺裕一准教授をお招きしての基調講演では、社会福祉協議会の「ミッション」という視点から福祉教育を推進する必要性や、「評価」という視点から福祉教育の進め方などについて確認することができました。参加した学校関係者からは、「地域の方々と連携しながら子ども達の福祉教育を推進していくのは大切なこと。継続して実施していきたい」という感想が聞かれました。



渡辺先生の基調講演

「福祉のこころ醸成事業実施マニュアル」を作成

県社協では「福祉のこころ醸成事業」の事業の効果と成果、また、事業を円滑に実施するためのポイントなどを集約した「福祉のこころ醸成事業実施マニュアル」を作成しました。今後、同マニュアルを活用し、各地域で「福祉のこころ醸成事業」が浸透し定着していくよう、引き続き福祉教育を推進していきます。

山梨市社会福祉協議会

みんなの
**地域
福祉**



山梨市社会福祉協議会では、市内の小学校及び地域の方々と連携しながら「福祉のこころ醸成事業」に取り組んでいます。これは、子ども達に人を思いやり助け合う“福祉のこころ”を育むだけでなく、大人の“福祉のこころ”の再学習や、地域における福祉教育関係者のネットワークづくりなどにも大きな効果が期待できます。平成21、22年度は県社協からモデル指定を受け、平成23年度からは自主事業として、市内4地区の小学校で実施しました。

中牧地区（山梨市牧丘町）での「地域教育講演会」では、知的障害を持ちながら音楽活動を行っている“麻里奈さん”の「マリナーズコンサート」を開催しました。当日は、地域の方、牧丘第二小学校の児童・保護者など約120名が集まり、途中、子ども達もステージに上

会場が一体となった **マリナーズコンサート**



“麻里奈さん”を囲んでみんなで大合唱!!



ピアノを奏でる
“麻里奈さん”

がって一緒に歌うなど、会場が一体となった心温まるコンサートとなりました。「麻里奈さんのお母さんが、『障害のある人と一緒に歩いてあげて』と言っていた。今度手をつないで一緒に歩きたい」と笑顔で話してくれた児童や、「社会との関わりを考え直す良い機会になった」と感慨深げに話す地域の方など、多くの人に、人を思いやる気持ちを感じてもらえたようです。

今後は「地域福祉活動計画」に位置づけ、市内全11地区での実施を目指すとのことで、今年度は6地区で実施する予定となっています。



歌は生きがい! 楽しく歌って、 若さもキープ

シニアコーラスグループ 「グリーンベル北西」

はぎはら
現会長 萩原 さつき (左) さん

おさだ ひでこ
前会長 長田 秀子 (右) さん

平成
8年

歌好き仲間が集まって、シニアコーラスグループ「グリーンベル北西」を設立。

平成
13年

青柳伸二先生の指導を受けるようになる。

平成
23年

長田秀子さんから、萩原さつきさんへ会長をバトンタッチ。

「最初は歌好きが集まってカラオケを楽しんでいたの。そのうち、せっかくだからコーラスをやらないかってことになって、団体を立ち上げたのが平成8年。18人だったメンバーも、今では50人を超えるようになってね」と話すのは、シニアコーラスグループ『グリーンベル北西』の長田秀子さん。山梨県内には24のシニアコーラスグループがありますが、グリーンベル北西はそのなかでも最大級の規模を誇ります。「10年前、青柳先生にご指導をいただくようになってからは、ストレッチ運動や発声練習、難しい歌への挑戦もできるようになって、活動の幅も広がったの」と長田さん。活動の中心は毎月2回の練習。その成果を、11月の甲府市文化協会の発表会と、3月のシニアコーラス連盟の発表会で披露するほか、最近では福祉施設への慰問や地域のさまざまなボランティアイベントへの参加も増えているとのこと。「私達の歌を聴いて喜んでくれる人がいるんだもの、こんな嬉しいことはないわよね。発表会のためにみんなで衣装を設えたり、オシャレをして大勢の前で歌ったりすることも、大きな張り合いになっているのよ」とイキイキとした笑顔で話します。

一方、発足以来長きにわたって会長を務めてきた長田さんから、昨年4月にバトンを渡されたのが萩原さつきさん。「歴史あるコーラスグループの会長は責任重大。私に務まるのかと心配でしたが、長田さんにいろいろと教えていただき、みなさんに助けていただきながら、なんとかやっています」と謙遜しながらも、「私もそうですけれど、メンバーはみんな歌が大好き。和気あいあいと話したり歌ったりすることで、気持ちが晴れやかになるし、お腹から大きな声を出して歌うから姿勢も良くなり、健康にもなれるんです。だからほら、みんな若々しいでしょ」とにこやかです。

5月初めの練習日。仲良く並ぶお二人の背後から聞こえてくるのは、練習中の「すみれの花咲く頃」。若々しい歌声が、新緑に囲まれた山宮福祉センターを一層さわやかに包み込みました。



青柳先生の演奏に合わせて、のびやかに歌う



発表会やイベントには、おそろいの衣装で



緑が丘デイサービスセンター

桜の花見には、みんなで作ったお弁当を持って

「緑が丘デイサービスセンター」は甲府市の住宅街にあるごく普通の一軒家です。定員は10名。個浴や家庭料理を中心に、少人数ならではのきめ細かい一人ひとりにあった関わりを大切にしています。

普段の活動は前もって計画せず、その季節に合う行事(ドライブや紅葉狩りなど)を、その日の利用者の希望で実施しています。中でも一番の楽しみは、桜の花見です。毎年、利用者全員で作ったお弁当を持って近所の公園にお花見に出かけています。

同施設の特徴は、利用者と職員と一緒に手づくりの食事やおやつを作る機会を多くとっていることです。餃子や肉まん、ねじり菓子など、たくさん作った時は、家族へお土産として持ち帰ったり、ご近所や事業所に届けて、とても喜ばれています。

利用者が、それぞれの役割が持てるような働きかけをしています。また、話し相手や余暇活動を手伝う学生やボランティアを募集し、利用者がコミュニケーションをとりやすい環境づくりもしています。

所長の小川ひろみさんは、「利用者の皆様と一緒に、笑って、食べて、動いて、感動して…お互いに必要と思える人間関係づくりを目指したい」と話しています。当センターは「ありがとう」の言葉を大切にしながら、居心地の良い場所できいきとした生活を取り戻せるようサポートしています。

施設概要

施設名	社会福祉法人 善隣会 緑が丘デイサービスセンター
住所	〒400-0008 甲府市緑が丘 2-11-2
電話	055-255-1661
FAX	055-255-1662
URL	http://www.zenrinkai.or.jp
設立	平成 16 年 3 月 1 日
敷地面積	583.49㎡
延床面積	136.54㎡
建物構造	木造
定員	10名
関連施設	「特別養護老人ホーム 尚古園」 「尚古園指定居宅介護支援事業所」 「尚古園デイサービスセンター」 「グループホーム山径・デイサービスセンター山径」 「サテライト特養 尚古園」 「尚古園中央デイサービスセンター」

~ちょっと寄り道~



緑が丘スポーツ公園 (船出広場)

甲府市緑が丘にある運動施設で野球場、競技場、球技場、水泳場、テニス場があり、年間を通して広く利用されています。その一角にある船出広場は、元々はサッカー場で、ヴァンフォーレ甲府(当時の甲府クラブ)の社会人サッカーリーグ時代に本拠地でした。今は桜の名所として知られていて、家族で楽しめる芝生広場となっています。緑が丘デイサービスセンターの利用者も毎年お弁当を作ってお花見に出かけます。秋の紅葉も見事で、さまざまな木々が色づいて見ごたえ十分です。

小さな 芸術家たち

「第31回児童文化奨励絵画展」から

(全国児童養護施設協議会主催)

〈県代表作品〉

◇題名:「未来による地球の征服」

◇施設名: 山梨県立正光生園

◇学年: 高校1年

◇審査員のコメント: 地球環境を色と形で的確に表している。



平成24年度 福祉人材センター事業

労働人口の減少が予想される中において、介護分野については、平成23年度の介護職員は約140万人で、団塊の世代の方々が75歳以上になる平成37年には210万人以上の介護職員が必要になると試算されています。

近年の介護分野の労働市場の動向は、平成18年度以降、求人倍率が急上昇し、リーマンショックの影響等により一時低下したものの平成22年夏以降、再上昇傾向にあり、介護人材の不足感が高まっています。

こうした状況を踏まえ、国では、平成21年度から実施してきた「福祉・介護人材確保対策」をさらに充実し平成24年度も継続実施することとなり、本県では、山梨県より本福祉人材センターが、無料職業紹介事業に加え、臨時事業を受託することとなりましたので、事業の一部を紹介します。

①福祉・介護人材参入促進事業

福祉・介護の職場での人材確保に向け、その仕事の魅力を学生層を中心に多くの方々に知って頂くため、11月11日の「介護の日」を中心に設定されている11月4日から11月17日までの「福祉人材確保重点実施期間」にあわせ、シンポジウムの開催やマスメディアを活用し広く情報を発信します。

②福祉・介護人材マッチング機能強化事業

2名のキャリア支援専門員が事業所と求職者に対する支援を一体的に行います。また、職場体験事業では、福祉・介護の仕事に関心の有る方に、5日間以内の職場体験の機会を提供します。

③福祉・介護人材キャリアパス支援事業

現在勤務されている方々に就労年数や職域階層等に応じた研修会を実施いたします。また、県内の介護福祉士等の養成校に協力いただき、職場内研修に講師を派遣します。

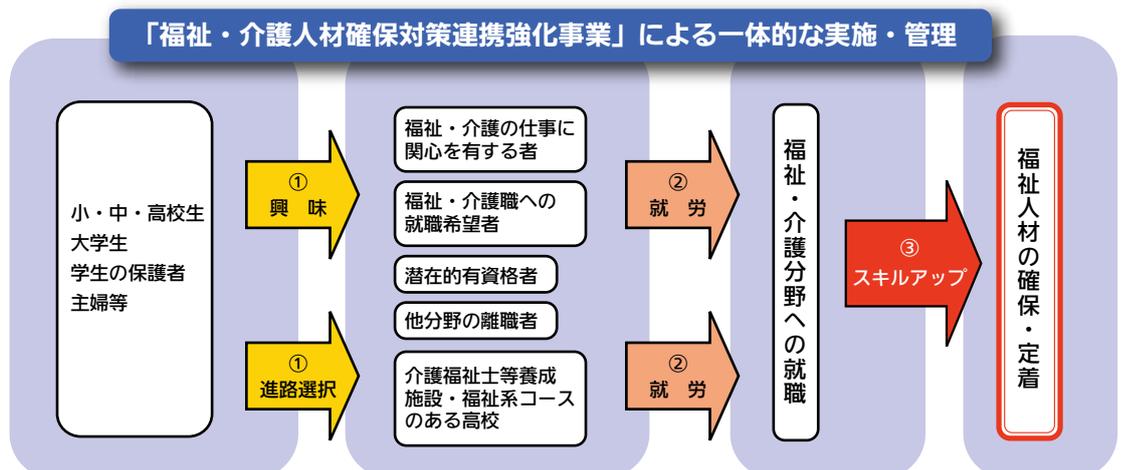
○各事業のお問い合わせ

山梨県福祉人材センター
住所 甲府市北新 1-2-12 福祉プラザ 4階
電話 055-254-8654

福祉のお仕事ホームページ
<http://www.fukushi-work.jp>



- 事業体系
- ① 福祉・介護人材参入促進事業
 - ② 福祉・介護人材マッチング機能強化事業
 - ③ 福祉・介護人材キャリアパス支援事業



介護保険制度は、お住まいの市町村が保険者となり、40歳以上が加入者（被保険者）となって保険料を納め、介護が必要になったときには、費用の一部を支払いサービスが利用できるしくみです。

今年度、介護保険制度が利用者により利用しやすいよう改正され、介護職員の処遇改善等についても取り組まれています。

平成24年度
介護保険制度
改正のポイント

①介護保険料とサービス利用料

○介護保険料額と負担割合の改正

介護保険料額が見直され、介護保険制度の財源のうち半分が介護保険料でまかなわれています。今年度の改正で65歳以上の第1号被保険者が20%→21%、40歳以上65歳未満の第2号被保険者が30%→29%に変更されました。

○介護保険サービスの利用料の改正

介護報酬が見直されたため、介護保険サービスの利用料が変更されました。

②地域包括ケアシステムの基盤強化（新しいサービスの創設、内容の追加）

○「定期巡回・随時対応サービス」・「複合型サービス」の創設

◆「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」

「訪問介護」と「訪問看護」が連携し、利用者宅に対して短時間の定期巡回を行ない、利用者の要望に応じたサービスを提供するというもので、対象は「30分以内で移動できる」圏内で、要介護度1以上の要介護者となります。

◆「複合型サービス」

利用者の状態に応じた「通い・泊まり・訪問（介護・看護）」などを柔軟に提供するための、「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせ、利用者のニーズにより介護だけでなく医療系サービスについても一括して提供できます。

○介護予防・日常生活支援総合事業の創設

市町村が要支援者、介護予防事業対象者を対象に従来の介護予防サービスと配食などの生活支援サービスを総合的に実施できる事業が創設されました。詳しい事業内容は、市町村ごと異なりますので、お住まいの市町村にご確認ください。

③介護人材の質の向上、待遇改善、利用者保護

○介護福祉士による痰の吸引および経管栄養などの実施

診療補助行為として介護福祉士や一定の研修を受けた介護職員による「痰の吸引」「経管栄養」などが認められることになりました。

○介護職員の処遇改善加算を創設

平成21年10月より実施されてきた「介護職員処遇改善交付金」は、制度本来の在り方として介護報酬により加算実施されるよう改善が図られました。

介護保険サービス事業所に関するホームページ

介護サービス情報の公表 <http://www.espa-shiencenter.org/>

【山梨県】 <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19>

WAM NET（ワムネット） <http://www.wam.go.jp/> ※「介護サービス情報の公表」「ワムネット」で検索

介護 保険 制度

介護保険制度の詳しい内容は、市町村ホームページやお住まいの市町村の介護保険担当部署、お近くの地域包括支援センターにお問い合わせください。

歩行器

足腰が弱くなり、歩く際に助けが必要な方にお勧めです。

あると便利なグッズたち

oods 福祉用具 紹介 1



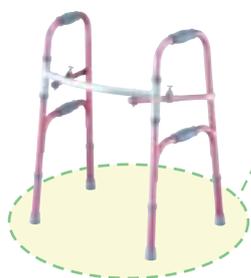
リハビリでは平行棒から杖歩行への移行期に用いられることが多い歩行器。日常生活での使用は便利だけでなく、歩く力を維持したり、強化したりする効果も期待できます。

いろいろなタイプがありますので、身体の状況や使用する環境などに合わせて選ぶことが大切です。

歩行器は介護保険の福祉用具貸与の対象となっており、条件を満たせば1割負担でレンタルできるなどの優遇処置が受けられます。ぜひケアマネジャーにご相談ください。

1. 四脚固定型

フレームが固定されている歩行器です。歩行器を持ち上げて前へ運び、それを支えに足を踏み出すことで歩みを進めます。両腕の筋力がある程度あり、自分で立てられる方にお勧めです。



価格：16,000円（非課税）

セーフティーアーム

通常の歩行器としての使用はもちろん、グリップの角度を「ハの字型」にして、トイレやベッド周りの手すりなどとして利用することもできます。



「ハの字型」使用例

2. 交互型

持ち上げるのではなく、左右のフレームを、右、左と交互に振り出して歩みを進めます。一步一步確認しながらの歩行訓練にもお勧めです。ただし、立ったときのバランス機能や上肢の左右交互運動は、固定型よりも必要になります。



価格：16,000円（非課税）

セーフティーアーム 交互式

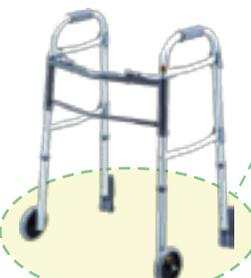
グリップの内幅は、一般的な日本人の体形に合わせた45cm。コンパクトなので、自宅での使用にもお勧めです。



グリップをしっかり握り、左右均一に体重を掛けましょう。

3. 前二輪車輪型

前2脚が小さな車輪になっていて、前かがみになって前脚に体重を掛けると後脚が持ちあがり、車輪が回って自然に前へ進みます。姿勢を戻すと後脚部分が接地して止まります。平らな場所や屋内環境での使用が前提となります。



価格：15,000円（非課税）

アルミ軽量固定型歩行器

四脚固定型が基本ですが、別売りのホイール（前脚）やリアブレーキ（後脚）を装着することで前二輪車輪型としても使用できる2WAYタイプです。別売：ホイール、リアブレーキ どちらも4,200円（税込）



体験コーナー
開設中

今回ご紹介した3機種を、山梨県立介護実習普及センター（山梨県福祉プラザ1階）展示室で実際に体験していただけます。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせは、

山梨県立介護実習普及センター

TEL 055-254-8680

FAX 055-254-8690

まで。

全国200万人加入!!

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

Aプランで
死亡1,400万円
入院7,000円、通院4,100円
賠償責任5億円(限度額)
を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ボランティア活動
のための
学習会・会議など
での事故も補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK



	基本タイプ	天災タイプ
年間 保険料	Aプラン 280円 Bプラン 420円	490円 720円

◇天災タイプは基本タイプ+地震・噴火・津波を補償

*各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 地域福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3231)7545



福祉の相談窓口 (第6回)

山梨県福祉プラザ内にある相談窓口を紹介します。
今回は「山梨県女性相談所」です。

面接相談

山梨県女性相談所

甲府市北新1-2-12

受付時間:午前9時～午後5時
(土日祝日、12/29～1/3を除きます)

電話相談

TEL:055-254-8635

受付時間:午前9時～午後8時
(土日祝日、12/29～1/3を除きます)

相談は無料です。
面接相談は予約も可能です。

何をするとおこですか?

昭和31年に公布された売春防止法に基づき、保護を必要とする女性の相談、支援をする機関として昭和32年に設置されました。

平成13年に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行され配偶者暴力相談支援センターとしての機能も果たしています。

さらに平成16年からは人身取引行動計画に基づき、人身取引被害女性の保護にも努めています。

どんな相談にのってくれますか?

人間関係や家庭内のもめ事、離婚問題、配偶者や恋人などからの暴力(DV=ドメスティックバイオレンス)など、女性からのさまざまな相談に応じています。特にDVの相談が多く寄せられています。

電話又は来所での面接相談を受けています。匿名での相談も可能です。

事前に相談いただいた内容で、ご希望があれば、毎月第二水曜日に行っている精神科医による医療相談が受けられます。

だれが相談にのってくれますか?

相談を受ける相談員は、全員女性です。豊かな経験と知識をもち、女性のいろいろな悩みごとのよき相談相手となり、助言にあたります。

イベント・ご案内

平成24年度介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

今年度の介護支援専門員実務研修受講者を選定するための試験を行います。

- 試験日…10月28日(日)
- 試験会場…都留文科大学
(都留市田原3-8-1)

■試験案内の配布…

6月中旬より市町村介護保険窓口、県市町村社会福祉協議会ほかで配布します。

- 受験手数料…6,700円
- その他…

試験合格後、平成25年1月より開催する実務研修を受講可能な方のみ、お申し込みください。日程は試験案内に記載します。

■お問い合わせ先…

県社協福祉人材研修課研修担当
☎ 055-254-9955

報告・ご寄附

善意をありがとう

車いすとタオルの贈呈

このたび第一生命労働組合甲府支部から、車いす10台、大判タオル100枚が寄贈され、去る2月22日、山梨県福祉プラザにおいて高齢者・障害者施設への贈呈式を行いました。

同組合では営業職、内勤職の両組合員が一体となり、地域社会貢献活動を推進しています。その一環として、本県でこれまでに90台の車いすが45施設に贈られました。

寄贈された車いすやタオルは、施設での利用者の生活に活用させていただきます。

ありがとうございました。



同組合甲府営業職支部の渋谷委員長(写真右前)から、施設代表のロイヤルあかしの平嶋施設長(写真左前)へ車椅子が贈呈されました。

また、甲府内勤職支部の塩飽委員長(写真右奥)から、サテライト尚古園の廣瀬理事長(写真左奥)へタオルが寄贈されました。

広報委員会の紹介

私たちが「やまなしの福祉」をつくっていきます。

山梨県社会福祉協議会 広報委員会 13名 (平成24年4月1日現在)

委員長

山梨学院大学
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科
教授 小西 順人



委員長の小西です!
手にとって読んで頂ける誌面をめざして、私たち13名の広報委員は、大変革をめざしながら、地道に知恵を出していきます!

副委員長

絆 岡の家デイサービスセンター
NPO法人 地域福祉サポート笛吹
所長 中村 悦子



社会福祉の原点と多様化する社会福祉ニーズ解決への道筋や機能が、誰にでも分りやすく入手でき、その制度やサービスが容易に活用されるような広報紙づくりを願っています。